

17. 野田こども園保護者への「魅力ある学校づくり構想」の説明会・質疑応答（概要）

○日 時：平成28年（2016年）5月25日（水）11時15分～

○場 所：野田こども園

質問・意見等	豊中市からの回答
<p>「中一ギャップ」の説明があったが、どうして中学校に進学すると不登校の数が増えるのか。原因はどこにあると考えているのか。</p>	<p>中学校進学後、不登校者数が増加しているのは統計的に事実です。不登校の原因は、個別に様々な事情や理由があるため、一概には言えませんが、小学校から中学校へ進学したことによる環境の変化、例えば、小学校は学級担任制ですが、中学校は教科担任制になり、定期テストが始まり、勉強のスピード、難易度も上がります。思春期という時期でもあり、体も心も変化の時期である、というようなことが考えられます。</p>
<p>小中一貫教育を導入することでいじめの件数が本当に減るのか</p>	<p>小中一貫教育に取り組んでいる学校を対象に、文部科学省が調査を実施しており、その中で、小中一貫教育の成果として、いじめ問題が減少した、と回答している学校が約60%ありました。この庄内地区で小中一貫校をつくった場合も、そのような成果が得られると期待しています。</p>
<p>工事期間中に例えば野田小学校へ他の小学校を集約するということが、そこでいじめや他の問題が起こってしまえば意味が無いのではないのか。</p>	<p>複数の小学校が一緒になるので、子どもも環境の変化が原因で不安定になる可能性もあります。例えば、スクールカウンセラーを派遣したり、あるいは支援をする先生の数を増やすなど、起こりうる問題に対する対応策を事前に練って、対応していきたいと考えています。</p>
<p>何も他市でやっているからといって、真似する必要なんてない。現状でも先生と保護者と子どもと一緒にやっていけば十分にいい学校としてやっていけるはずだ。</p>	<p>今回の構想は、学校再編の話と小中一貫教育の話、つまり、学校規模の話と教育手段の話になります。庄内地区では小規模校が増えており、クラス替えできない学年が非常に多い状況で、子どもに負担がかかっているものと認識しています。このままの状況で良いとは考えていません。</p>
<p>現状、クラスに問題児がいても、先生は細かいところまで対応できていない。私には中学2年の子どもがいるが、小学校でも今中学校でも先生たちは全然うまく対応できていない。教育委委員会は今学校で起こっている問題を認識しているのか。授業中や生活指導でどのようなことが現場で起きているのかわかっているのか。様々な問題が今あるのに、そちらを置いて、お金をかけて新しい学校を作るといふのか。</p>	<p>今、現場で様々な問題、学校ごとにいろいろな事例や課題があることは認識しています。教職員は一丸となって問題を解決しようとして取り組んでいるところです。教育委員会もいろいろな機関や地域の方々と連携して策を講じています。しかし、すべて問題を解決できているわけではありません。今、目の前の子ども達の課題に向き合って、例えば教職員を加配して課題別学級編制を行うなどの対応を行っていますが、学校再編を機に小中一貫教育という手法を用いて、魅力ある学校、より良い学校を作って、抜本的に問題を解決したいと考えています。この再編が問題解決の大きなチャンスと考えています。</p>
<p>本当に新しい学校は、良い学校になると言い切れるのか。</p>	<p>そのために今回ご提案しています。必ずいい学校を作る、いい学校ができれば、自分の子どもも通わせたいと他の地域から移ってくる人も増える可能性があります。そうなれば庄内地域の活性化にもつながると考えています。そして何より、庄内地域の子どもが、自己肯定感をもって、生きていく力を身に付けて巣立っていくことをめざしています。</p>